医療法人
社会福祉法人 養和会

No.285

令和5年6月発行

きやらぼく

CONTENTS

▪ 養和会レポート
・介護医療院 開院1周年記念
・みるくの里外出
・みんなちがって、みんないい

▪ information
・ガイナーレ鳥取の応援に行ってきました
・こうやまちカフェ
・養和会野球部

※表紙の写真は、介護医療院のスタッフです。

養和会グループの求人募集はこちらから

engage 養和会 検索

介護医療院 開院１周年記念

介護医療院
介護福祉士・介護支援専門員
福間 宏喜

【1 年を振り返って】

開所当時は、医療と介護の違いについて非常に悩んだ時期がありました。医療行為の必要性が高い現場の中で、初めて経験する事も多く、涙を流した職員もいます。また多くのご利用者との別れも経験してきました。早く元気になって在宅に復帰して頂きたくても、困難な環境のなかで、今私達に出来る支援とは何かを模索し続けた一年でもあったように思います。人生の最終段階の医療・ケアにおいて、様々な職種が一人のご利用者を支えていく事の重要性を、職員ひとりひとりが少しずつ理解し、チームとして成長してきた一年だったのではないでしょうか。

【今後の展望】

今年度の目標の一つとして、「在宅復帰」があります。昨年度は残念ながら在宅復帰に至りませんでしたが、今年度は５月時点で２名の在宅復帰希望があり、それに向けての準備を行っています。人生の最終段階の医療・ケアが多い現場の中で、在宅に帰って生活を継続できる事は、ご本人やご家族だけでなく、職員にとっても高いモチベーションになると考えます。新型コロナが第５類を迎えましたが、標準予防策をしっかりと守りながら、在宅へ向けて外出や、外泊の援助が出来たらと思います。又地域との交流が少しでも図れるよう、アプリコの活用や、行事参加など行いたいと考えています。

介護医療院
介護福祉士　博田 将圭

開院から１年が経過し、５月 12 日には１周年記念行事としてお茶会を開催致しました。本来はお茶会以外の催しも企画しておりましたが、この度も感染症対策のため、お茶会のみの実施とさせて頂きました。

お茶会ではご利用者自らお茶を点てられ、和菓子を召し上がられました。ご利用者からは「美味しかった」、「また飲みたい」と２杯、３杯とお代わりをされるご利用者もおられ、大好評でお茶会を終えることが出来ました。

今後も感染対策を行いながら、ご利用者に楽しんで頂ける行事を開催出来ればと思っております。

みるくの里外出

精神科デイケアたんぽぽ
精神保健福祉士　岡本 遼平
作業療法士　廣江 一駿

精神科デイケアたんぽぽではゴールデンウィーク行事として２日に渡りみるくの里へ外出活動を行いました。コロナ禍の影響で長い間外出活動が休止していましたので、久々の外出活動となりました。

当日は行事食として職員が弁当を詰め、現地でご利用者と一緒に食べました。また、自由時間では大山から見える景色を楽しんでおられる方やソフトクリームを召し上がられる方、売店でお土産などを買っておられる方もおられ、皆さんそれぞれの楽しみ方をしておられました。

みるくの里の方にも食事場所の提供をして頂くなど、ご協力を頂きました。

ご利用者からも「久々に外出に行けてよかった。」、「楽しかった。」などの感想も聞かれ、今後もご利用者に楽しんで頂けるような行事を企画していきたいと思いました。

みんなちがって、みんないい

エポック翼　精神保健福祉士　仙田 雪菜

木々を渡る風が心地よく感じる季節となった５月 24 日、錦町３丁目の子ども会の方々と一緒に今年も『共造の木』へ花を加えました。

『共造の木』とは２年前に地域共生社会の実現をテーマとし、米子高専の学生のデザインを基に地域住民の方々や米子高専の学生、エポック翼のご利用者・スタッフで作成した壁画です。

多様性を象徴する様々な色の花を今年の新１年生４人が保護者の方や関係者と一緒に楽しそうに咲かせてくれました。

錦町３丁目子ども会の関係者の方が、「この取り組みが最初にあった時、うちの子どもが参加させてもらったんです。今でもここを通ると“あれは私の花”と話すんですよ。こうやって毎年色々な色の花が増えていき、この桜の木が満開になると嬉しいですね」と仰られました。

『地域共生社会』と聞くととても難しく考えてしまう中で、この取り組みが少しでも地域の方々との懸け橋になるよう、“あなたはあなたでいいんだよ”と言える地域になる事を改めて願う１日となりました。

ガイナーレ鳥取の応援に行ってきました

Be supporters!

仁風荘　本町３丁目　介護福祉士　大月 慎也

当日は雨の予報でしたが、なんとか曇りの中で観戦することが出来ました。

久しぶりの外出という事もあり、ご利用者も外の空気に触れて気分上々。暖かい恰好をして、麦わら帽子を被って、車に乗り込んでいざ出発。ガイナーレのサッカー場まで数分の車旅でしたが、外を見ながらドライブ気分も。ご利用者はサッカーにあまり馴染みがないご様子でしたが、前半にガイナーレがゴールを決めると、笑顔も弾け、泣いてしまうご利用者も居られました。スタッフと一緒に一生懸命応援しました。

普段味わう事の出来ない人の集まり、熱気を感じることができたご様子で、帰荘後の会話も盛り上がっていました。　（令和５年６月７日　日本海新聞に掲載されました）

こうやまちカフェ

シニアマンションこうやまち
主任　介護福祉士　石上 詩織　　事務員　濵田 洋子
メディフード　調理栄養士　亀山 麻里

４月25日にシニアマンションこうやまちにおいて「こうやまちカフェ」を再開しました。

「こうやまちカフェ」は、ご入居者のお楽しみ機会の創出、ご入居者同士の交流機会の創出等を目的に、午後食堂にてお飲み物、ケーキ、和菓子を召し上がりながら、ゆっくりと穏やかな時間をお過ごしいただく催しで、コロナ感染症流行前は毎月１回開催しており、ご入居者からも好評を得ておりました。

コロナ禍においてはほぼ開催を休止しており、その間ご入居者からも「コロナが収まったら再開して欲しい」とのご要望を多々頂いておりました。ご入居者の思いに応えるべく、再開の機会を伺っておりましたが、ここ最近の感染状況、養和会行動指針を鑑み、感染対策を実施しながら４月より再開することとなりました。

開催当日はご入居者 21 名にご参加いただき、「美味しかった」、「また参加します」、「続けてください」と皆様に笑顔でおっしゃっていただきました。

今後も「こうやまちカフェ」以外にも、感染対策を実施しながら可能な限りのイベントを企画、開催して、ご入居者の満足度を向上していきたいと考えております。

養和会野球部

天皇賜杯第78回
全日本軟式野球大会　米子市予選結果

5/21(日)1回戦 vs 米子市役所 9-2
6/3(日)準決勝 vs 西部消防米子 6-4
　代表決定戦 vs JR米子6-1

米子市予選を無事突破することが出来ました。目標は全国大会に出場することなので選手一同この結果で満足することなく更なる高みを目指して日々邁進してまいります。6/17には天皇賜杯西部地区予選が御座います。

チーム一丸となって必ず県大会に出場出来るよう頑張りますので今後も応援宜しくお願い致します。

野球部 主将 福島 直也

7・8月の予定

■第27回西日本軟式野球選手権大会西部地区大会
7/15 (土) 1回戦 vs 米子信用金庫
　境港市竜ヶ山球場にて9時試合開始予定
　勝てば13時よりMクラブと対戦予定。
7/16 (日) 代表決定戦
　淀江球場にて9時試合開始予定
7/22 (土) 天皇賜杯第78回全日本軟式野球大会県予選

養和会　養和会理念　養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ　職員の幸せを追求します。

こちらからHPもご覧ください　養和会

医療法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号　TEL 0859-29-5351　FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号　TEL 0859-48-0483　FAX 0859-48-0484

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。